

日本発生生物学会

インホーメイション・サーキュラー

№. 2

1968年12月

日本発生生物学会

サーキュラー162は、来年度大会案内および欧文誌についてのお知らせとお願いを主内容にいたしました。大会が有意義に成功し、立派な欧文誌ができますよう会員の方々の積極的御参加をお願い致します。

目次

内 容

第2回総会・大会案内	P 1
1 総会・大会要項	P 1
2 参加・講演申込み	P 2
(講演要旨原稿執筆要項)	P 3
(ディスカッション・ミーティング)	P 3
3 宿 泊	P 4
4 参加申し込み送り先	P 5
欧文誌についての報告とお願い	P 6
(寄稿についてのお願い)	P 7

日本発生生物学会

京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部植物学教室内

(郵便番号 606)

日本発生生物学会 第二回総会ならびに大会案内

すでにご承知のように新会長，新運営委員がきまりまして，日本発生生物学会の活動が軌道に乗りましたことは喜びにたえません。つきましては第二回の総会・大会を金沢大学において準備をすすめ下記のように計画しました。できるだけ多数の方々の御参加をえて，新しい研究，活発な情報交流の場としてこの大会をより有意義なものにしたいと希っております。

昭和43年12月

第二回大会準備委員会

金沢市丸ノ内1の1，金沢大学理学部生物学教室

委員長 木戸哲二 Tel 0762-62-4281-内線553

1 総会並びに大会要領

- (イ) 期 日 昭和44年5月31日(土)，6月1日(日)
(ロ) 会 場 金沢大学教養部校舎(理学部に隣接)
(ハ) 日 程

	日	時間	行 事
前日	30(金)	午後	役員会など
第一日	31(土)	午前	一般講演
		午後	一般講演，総会，懇親会
第二日	1(日)	午前	一般講演
		午後	ディスカッション ミーティング

2 総会，大会参加及び講演申込みについて

(イ) 総会，大会参加について

総会，大会に参加希望の方は，必ず別紙添付の参加票に必要事項をご記入の上，4月15日（到着期日厳守）までに大会費500円（学生は300円）を添えて大会準備委員会宛お送り下さい。

総会では発足間もない学会で，いろいろとご意見もごさいしょうから積極的なご出席をお願いします。

(ロ) 大会に参加しないがプログラムのみを希望される方は4月15日までに参加票と共に200円をお送り下さい。プログラムは大会前に郵送する予定です。

(ハ) 講演を希望される方へ

発表される内容は研究材料及び方法の如何を問わず発生生物学に関するあらゆる分野の研究を含みます。講演希望の方は来る4月15日までに参加票と共に，200字前後の講演要旨を大会準備委員会宛にお送り下さい（到着期日厳守）

講演時間は質疑応答を含め一題20分とします。但し演題数と時間の都合を考慮同傾向の講演数題を一括して一つの討論時間で行っていただくよう大会準備委員会の責任でお願いする講演が生ずるかも知れませんから，この旨ご承知おき下さい。

会場には35ミリ・スライド映写機（一台），また必要に応じて16ミリ，フィルム映写機（一台）を用意します。スライドは1枚ごとに図のように「天」の字と映写番号，講演者の氏名，発表番号を付記して下さい。同一スライドを2度使用の場合は同じものを2枚用意下さるよう希望します。

講演者は講演終了後，講演内容の原稿を座長にお渡し下さい。この原稿は学会誌（刷上り1頁）に掲載しますので，下記の要項にしたがって，よくご注意の上執筆して下さい。

№1	天	
	映	写
	写	機
番号	氏名	

講演要旨執筆要項 発表当日提出厳守

1. 400字詰横書き原稿用紙を用い、記述は表題・著者名・所属機関・本文（必要なら次に文献）の順とし、脚注として著者名ローマ字綴りと欧文表題を付けること。
2. 本文（文献記入の場合はそれを含めて）だけで、厳密に1,900字以上1,950字以内にまとめること。刷上り1頁となる。写真掲載の場合に限り実費を著者に負担して載くことがあるので諒承されたい（1/4大で数百円）
3. 図・写真を挿入することが希ましい。縮尺率は2/3または1/2が好ましい。ただし、刷り上りの大きさに応じて、上記本文の字数を削減されたい。（1/4頁大が560字分に相当）。
4. 文献記入の場合は著者名・年号・掲載誌名・巻・頁（始まりと、終りを15～30のように記述すること）。
5. 刷上りが1頁を超えるときは、超過印刷代を著者に負担していただく。
6. 別刷は、実費著者負担で作成するが、50部単位とし、希望部数を原稿第1頁に明記のこと（50部で約400円）。

(二) ディスカッション ミーティングについて（3月末日迄に連絡されること）

この新学会には これまでにない多方面の専門分野から集ってこられると思います。また、それを強く希っています。これを機会に関連分野の方々が親しく情報交換をするためには、従来の学会で行ったように1, 2のテーマのもとで開くシンポジウム形式では十分な交流ができかねると考えまして、自由に話し合いができ、しかも学会に参加された方々のすべてがどこかの集會に参加できるように小集會をできるだけ数多く開きたいと企画しました。開期は日程表に一応第二日の午後としておきましたが、それ以外に第一日の懇親会後、それぞれの二次会の形式で開いていただいてもよいと思います。それに沿った集會をできるだけ都合したいと思います。この主旨にご賛同いただきまして、この小集會のオルガナイザーになる方の氏名、主なテーマ、人数及び希望を、また、こんなテーマについて交流したいがオルガナイズする方を考えてほしいというご意見がありましたら、来る3月末日までに準備委員会までお知らせ

せ下さい。(できるだけ早い方が希ましい) なお,オルガナイザーにはならないが,このようなミーティングなら参加したいというお考えもお聞かせ下さい。

(ホ) 懇親会について

第一日(5月31日)総会終了後,学生会館二階大ホールでビール・パーティー(会費100円)を催し,会員相互の交流を計りたいと思います。全員参加を主に企画しましたので会費にこだわらないことにしました。出席される方は参加票にその旨ご記入の上,会費は大会費と共に大会準備委員会宛にお送り下さい。

3 宿 泊 に つ い て

大会準備委員会としては宿泊のお世話はいたしかねますので,お手数ながら各自で手続きをとって下さい。係で選んだ宿泊施設は下記のとおりであります。北陸では観光シーズンでもあって適当な宿舎が不足すること考えられますので,来る3月末日までに,できるだけ早く予約して下さい。予約申込みの際は,発生物理学会宿泊申込みであることを明らかにし,住所,氏名,性別,等級,宿泊期間(例;30日夕~2日朝)を明記し,予約金の必要の場合はそれを添えて申込み下さい。これらの宿泊施設はいつでも大会場からバスで20分,タクシーで10分以内の距離にあります。

イ 金 沢 都 ホテル 金沢市此花町,金沢ビル内(電話・0762-31-2202)

料金(1泊室料):シングル1,800円,2,000円,

2,200円,2,400円

ツ イ ン 3,200円より 予約金不要

ロ セントラル ホテル 金沢市堀川町4の1(電話・0762-63-5311)

料金(1泊室料と朝食付)

シングル 1,900円~2,600円

ツ イ ン 3,800円以上 予約金不要

以上の両ホテルは金沢駅前にあります。

ハ 北 陸 会 館 金沢市兼六元町1の1(電話・0762-62-0035)

- 料金(1泊室料) 400円, グリルあり, 収容20人, 予約金不要
- (ニ) 石川県労働会館 金沢市芳齊町2丁目15の18 (電話・0762-62-0271)
 料金(1泊室料) 450円, グリルあり, 収容33人, 予約金不要
- (ホ) 石川県婦人会館 金沢市広坂2丁目1の3 (電話・0762-63-0115)
 料金(1泊2食付) 1,200円(朝食100円, 夕食200円)
 予約金不要, 男子でも宿泊可, 収容30人
- (ヘ) 国家公務員共済
 組合 宿泊所 紅梅荘 金沢市大手町2の14 (電話・0762-31-2813)
 料金(1泊2食付) 組合費880円, 予約金1人1泊200円,
 収容40人
- (ト) 金沢市旅館
 共同組合 金沢市香林坊1丁目1の28 (電話・0762-
 21-1147
 63-3811)

金沢市の中央部にある旅館の共同窓口です。予約申込み人数には一応制限はありません。予約金は1人1泊につき1,000円です。

家族, 知人との同宿を希望される場合は予約の際に, その旨申し込んで下さい。これらの旅館には洋室はありません。

4 参加票・講演要旨・大会費・懇親会費等の送り先

金沢市丸ノ内1番1号 金沢大学理学部 生物学教室 (郵便番号920)

日本発生生物学会大会準備委員会 (木戸哲二)

会費の送金には郵便定額小替為をご利用下さい。

※ 注意 同封の参加申し込み票をおとどけ下さった方のみ, 大会プログラムなど大会案内を郵送致します。

欧文誌についての報告とお願い

編集主幹 梶山正雄

10月26日名古屋で編集会議を開いた。出席者は、主幹、丸山、吉谷、田（仁）、飯野、岡田（節）、岡田（善）柳島各委員、江口エンブリオロギア事務幹事。また佐藤忠雄エンブリオロギア主幹も会議の途中出席された。欧文誌を発生生物学会の雑誌として今後発展させるための方針方策について、長時間にわたり、種々討議し、基本的な点について大体の結論を得た。主な点は次の通り。

誌の性格：次の英文で性格を示す。このかなり広い包含分野にわたり、発生生物学の優れた論文をのせる。

DEVELOPMENT, GROWTH and DIFFERENTIATION is an international journal devoted to the publication of original papers dealing with developmental phenomena in all kinds of organisms. Papers in any of the following fields will be considered: developmental genetics, growth, morphogenesis, cellular kinetics, fertilization, cell division, dormancy, germination, metamorphosis, regeneration and pathogenesis, at the biochemical, biophysical and analytically morphological levels; reports on techniques applicable to the above fields. At times reviews on subjects selected by the editors will be published. Brief complete papers will be accepted, but not preliminary reports.

誌名： Embryologiaを改題し、 Development, Growth and Differentiation とする。表紙には Development をやゝ大きく、後の語をやゝ小さく印刷する。（注、誌名公募に対し、多数の会員から候補名を寄せられたことに感謝

します。それらを慎重に検討した結果上記誌名となりましたが、この3つの語の組合わせ案が応募名の大半を占めていました。)

エンブリオロギアが近く第10巻を完結するので、来年その巻を継いで、第11巻第1号より改題する。

年刊行回数：年4回定期刊行とする。

用語：英・独・仏語のいずれかを用いる。要約は本文用語にかかわらず英語とする。

登載可否の判断：各論文原稿は、その専門分野のレフェリー2名に判断を依頼する。

事務幹事依頼：編集関係を小嶋学氏に依頼する。会計関係は当分江口吾朗氏にお願いする。なお、細かい事務を行う事務員を非常勤で近く頼む。

その他、投稿や編集の規定などの細かい事項の審議や、会員種別についての提案などがあった。(注、当日の議事録は学会運営委員各位に1部ずつ届けてありますから、便のある方は御覧いただけると思います。)

以上の会議の結論にしたがって、投稿規定、編集規定の制定の作業を進めた。編集委員、学会役員と通信により連絡しながら行ったので、予定よりおくれたが、12月初旬に最終のものができ上がった。

投稿規定：和文のものは「投稿上の注意」と題した同封の印刷物を御覧いただきたい。英文のものもできているが、これは第1号の裏表紙に印刷の予定。それより前に入手希望の方には申出次第コピーを差上げる。

編集規定：編集を能率よく、公正に進めるための方法や、レフェリー制度など、編集委員の申合わせを規定の形とした。(注、ここには内容を記す紙数がないので省きますが、各地の運営委員各位にはコピーが届けてあります。そのうちに印刷予定ですから、希望の方には差上げられます。)

発刊予定：昭和44年3月に第1号、6月に第2号刊行の予定。第1号、第2号は多数印刷して国内、国外に送って、入会や購読方をPRする予定。

寄稿についてのお願い

前記のように、本誌の包含範囲は、発生・成長・分化という生命現象の研究であり、個体・細胞・分子の各レベルにわたり、また動物・植物・微生物の間に境を意識しません。広く会員諸氏の御寄稿をいただきたいと存じます。

編集委員の方々は、今更御紹介するまでもない第一線の研究者で、本誌の発展のために非常な熱意を燃やして下さいます。この上は会員諸氏の御協力をお願い申上げて、いわば、新制第1期の編集任務を果すよう努力いたします。

なお、先日の編集会議の席上、エンブリオロギアの創始者であり、現在まで同誌を育ててこられた佐藤忠雄主幹の功績を讃える言葉が全員一致して出ました。エンブリオロギアを改題して、いわば脱皮して発展することに、同主幹が積極的に賛成して下さったことは、後任者を大いにげきれいすることになりました。

最後に、寄稿について2, 3の要項を申し上げます。第1号, 第2号の原稿しめ切りはそれぞれ1月20日, 3月20日です。「投稿上の注意」はやゝかたい文章ですが、編集を円滑に進めるために、これに沿って原稿を整えて下さるようお願い申し上げます。(文中3行目に「本誌最近号を参照して」とあるのは、第1号刊行までは適用できないことと御諒解下さい。)

発生生物学の優れた論文は是非D.G.Dに御寄稿下さるよう重ねてお願い申し上げます。

会 費 納 入 に つ い て

未納入の方は、郵便振替にて至急納入手続き下さい。

会費 和欧両誌希望者 3,000円 いずれか一方希望者 1,600円

口座番号 京都15350

加入者名 三菱銀行出町支店

通信欄に必ず発生生物学会会費と御記入下さい。

配 布 希 望 誌 連 絡 に つ い て

未連絡の方は至急学会事務局あて御連絡下さい。

送金される際、通信欄に記入して下さい結構です。